



安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	31-2738-8	版	3.00
発行日	2021/02/04	前発行日	2016/03/29

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

Fast Tack 1000NF Neutral

3M スtockナンバー

62-4226-7530-6	62-4226-7535-5	62-4226-8436-5	62-4226-8530-5	62-4226-9530-4
62-4226-9538-7	62-4226-9932-2			

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

水生環境有害性 (急性) : 区分3
水生環境有害性 (長期間) : 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

危険有害性情報

H412 長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き**安全対策**

P273 環境への放出を避けること。

廃棄

P501 内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	40 - 55
アクリルポリマー	営業秘密	45 - 55
ベンゼンスルホン酸（ドデシル、枝分かれ）ナトリウム塩	69227-09-4	< 1

4. 応急措置**応急措置****吸入した場合**

応急処置は不要。

皮膚に付着した場合

応急処置は不要。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

応急処置は不要。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置**消火剤**

製品は燃焼しない。火災周辺に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

アルデヒド
一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

新鮮な空気での場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入するのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 洗剤と水で残さを清浄にする。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。 消費者用用途への販売、使用禁止。 環境への放出を避けること。

保管

熱から離して保管する。 強塩基から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロ

ールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

化学防護手袋は不要。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	ラベンダー、白色
臭い	わずかにアクリル臭。
臭いの閾値	データはない。
pH	5 - 6 (単位表示なし)
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	引火点なし
蒸発速度	1 [参照基準: 水=1]
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	適用しない。
燃焼点 (上限)	適用しない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1 g/cm ³
比重	1 [参照基準: 水=1]
溶解度	混和性
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	400 - 1,100 mPa·s
揮発性有機化合物	
揮発分	
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	0 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	データはない。
固形分	45 - 55 重量%

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

強塩基

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

吸入した場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

発がん性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖毒性

生殖発生影響

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性**水生毒性（急性）**

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

水生毒性（慢性）

GHS水生環境有害性（長期間）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
アクリルポリマー	営業秘密		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
ベンゼンスルホン酸（ドデシル、枝分かれ）ナトリウム塩	69227-09-4	液状化	推定値	3 時間	EC50	>=550 mg/l
ベンゼンスルホン酸（ドデシル、枝分かれ）ナトリウム塩	69227-09-4	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>37 mg/l
ベンゼンスルホン酸（ドデシル、枝分かれ）ナトリウム塩	69227-09-4	ニジマス	推定値	96 時間	EC50	2.58 mg/l
ベンゼンスルホン酸（ドデシル、枝分かれ）ナトリウム塩	69227-09-4	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.83 mg/l
ベンゼンスルホン酸（ドデシル、枝分かれ）ナトリウム塩	69227-09-4	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	9.2 mg/l

残留性・分解性

Fast Tack 1000NF Neutral

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリルポリマー	営業秘密	データ不足			N/A	
ベンゼンスルホン酸（ドデシル、枝分かれ）ナトリウム塩	69227-09-4	推定値 生分解性	30 日	生物学的酸素要求量	6 % BOD/ThBOD	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリルポリマー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ベンゼンスルホン酸（ドデシル、枝分かれ）ナトリウム塩	69227-09-4	推定値 BCF-ブルーギル	21 日	生物濃縮係数	104	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

適用しない。

主な法規制物質

法規名

成分

該当なし。

安衛法（表示・通知）

該当なし。

化管法

該当なし。

毒劇法

該当なし。

16. その他の情報

改訂情報

セクション1：所在地 情報修正。
セクション1：担当部門名 情報修正。
セクション2：環境影響ステートメント 情報の追加。
セクション2：GHS分類 情報修正。
セクション2：絵表示 情報修正。
セクション2：注意書き - 廃棄 情報の追加。
セクション2：注意書き - 安全対策 情報の追加。
セクション2：注意喚起語 情報の削除。
セクション2：シンボル 情報の削除。
セクション3：成分表 情報修正。
セクション3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報修正。
セクション4：応急措置（急性・遅発性症状） 情報修正。
セクション4：応急措置 - 医療機関への報告（REACH/GHS） 情報修正。
セクション4：応急措置（眼に入った場合）の情報 情報修正。
セクション4：応急措置（飲み込んだ場合）の情報 情報修正。
セクション4：応急措置（吸入した場合）の情報 情報修正。
セクション4：応急措置（皮膚の接触した場合）の情報 情報修正。
セクション4：毒性学的影響情報 情報の削除。
セクション5：火災時情報（消火法） 情報修正。
セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正。
セクション5：火災時情報（特殊有害性） 情報修正。
セクション5：燃焼時有害性の表 情報修正。
セクション6：封じ込め及び浄化の方法及び機材 情報修正。
セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正。
セクション6：事故漏出時の措置 情報修正。
セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正。
セクション7：貯蔵情報 情報修正。
セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正。
セクション8：職業暴露情報 情報修正。
セクション8：作業環境許容値 情報修正。
セクション8：保護具 - 眼 情報修正。
セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正。
セクション8：呼吸保護情報 情報修正。
セクション9：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正。
セクション9：分解温度 情報修正。
セクション9：融点/凝固点 情報修正。
セクション9：特性 情報の追加。
セクション9：特性 情報の削除。
セクション9：色 情報の追加。
セクション9：蒸発速度情報 情報修正。
セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正。
セクション9：燃焼点（下限）情報 情報修正。
セクション9：燃焼点（上限）情報 情報修正。
セクション9：ナノパーティクル 情報の追加。
セクション9：n-オクタノール/水分分配係数の情報 情報修正。
セクション9：臭気限界 情報修正。
セクション9：臭い、色、グレード情報 情報の削除。
セクション9：揮発分 情報の追加。
セクション9：pH情報 情報修正。

- セクション 9 : 追加性状に関する記載 情報の追加.
- セクション 9 : 追加性状に関する記載 情報の削除.
- セクション 9 : 比重情報 情報修正.
- セクション 9 : 溶解性 (水以外) 情報修正.
- セクション 9 : 水溶解性 情報の追加.
- セクション 9 : 蒸気密度/相対蒸気密度 情報の追加.
- セクション 9 : 蒸気密度の値 情報の削除.
- セクション 9 : 蒸気圧 情報修正.
- セクション 9 : 粘度 情報の削除.
- セクション 9 : 粘度 情報の追加.
- セクション 9 : 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報の追加.
- セクション 9 : 揮発性有機化合物 情報の追加.
- セクション 10 : 反応性情報 情報修正.
- セクション 10 : 有害分解物 情報修正.
- セクション 10 : 有害な分解物の表 情報修正.
- セクション 10 : 有害な重合反応の性状 情報修正.
- セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
- セクション 11 : 追加毒性情報のステートメント 情報修正.
- セクション 11 : 吸引ハザード 情報修正.
- セクション 11 : 発がん性 情報修正.
- セクション 11 : 分類放棄声明 情報修正.
- セクション 11 : 表テキストに非開示の成分 情報修正.
- セクション 11 : 生殖細胞変異原性 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (眼) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (飲み込んだ場合) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (吸入した場合) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (皮膚) 情報修正.
- セクション 11 : 呼吸感作性 情報修正.
- セクション 11 : 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 情報修正.
- セクション 11 : 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 情報修正.
- セクション 11 : 皮膚感作性 情報修正.
- セクション 11 : 特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 情報修正.
- セクション 11 : 特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 情報修正.
- セクション 12 : 水生生物への急性毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 危険性の分類 情報修正.
- セクション 12 : 成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 材料の生態毒性に関するデータテキストなし 情報修正.
- セクション 12 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 12 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 13 : 廃棄物の処理ノート 情報修正.
- セクション 14 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 15 : 法規名 - 表 情報修正.
- セクション 15 : 適用法規のステートメント 情報修正.
- セクション 16 : UK放棄声明 情報の削除.
- セクション 16 : Webアドレス 情報修正.

免責事項：この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートへの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。

りません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。